

サマー・ワーク・キャンプ 2015

開催報告書

学校図書館プロジェクト・SLiiiC

2016年3月

## はじめに

サマー・ワーク・キャンプ (SWC) は、学校図書館プロジェクト SLiiiC (スリック) のメインイベントです。これは、2006 年の SLiiiC 設立以来変わらず、その目的と存在意義を問いつけるイベントとなっています。SLiiiC は、学校図書館支援を目的とした任意団体です。学校図書館関係者、関心を持つ方々に対して何ができるのかを模索し、それをサイトのコンテンツやイベント等で形にしてきました。そしてここ数年間は、SWC は明確なテーマ性を持った研修会として開催されています。

今年、SWC2015 のテーマは「学校図書館と生涯教育」でした。企画段階で俎上にあがったのは、「学校図書館は生涯教育の入り口ではないか」という考え方です。現在、公共図書館との綿密な連携はおろか、小中高の各学校図書館間のつながりも確立できているとは言い難い状況です。しかし本来、“学び続ける”ということは、学校の枠など超えたところにあるはずではないでしょうか。それならば、子どもたちの学びの場に必置されている学校図書館の果たす役割は、決して小さいものではありませんと思われるのです。そこで、学校図書館が生涯教育という枠組みの中で果たす役割について、ともに考えようということになったわけです。

さて、学校図書館の枠組みを超えたところの話をするためには、もちろん学校図書館関係者だけで、ことを完結させている場合ではありません。公共図書館、大学図書館、そして学生のみなさんにも参加していただき、話を聞いたり、共に活動したり、交流したいと、私たちスタッフは切望いたしました。この願いに応答してくださったのが、今回の講師や先生方、企画参加の学生のみなさんです。元々テーマが壮大すぎて、たった 2 日間では結論など出るはずもなく、参加者ひとりひとりが、何が少しでも手がかりや新しい考え方を得てくださればそれで成功、と考えておりました。しかし、そのための材料と人材は、十分すぎるほど提供できたのではないかと思います。このようなラインナップで、このような企画内容で、無事多くの参加者を得て開催できたことに、心から感謝いたします。

SWC2015 は、2015 年 9 月 12 日 (土) と 13 日 (日) の 2 日間、東京都調布市の白百合女子大学を会場にして、66 人 (2 日間通しての実数) の参加者を得て開催されました。この報告書の他、『カレントアウェアネス-E』(国立国会図書館運営の図書館及び図書館情報学に関する最新ニュースを提供するメールマガジン) でも報告を行っておりますので、ご覧ください。 <http://current.ndl.go.jp/e1718>

ここでは、特に以下の方々に謝辞を述べさせていただきます。

オープニング講師をつとめてくださった高井陽さん、プレッシャーをはねのけて素晴らしい、そして誠実な話をしてくださってありがとうございました。学生を率いてきてくださったうえ、様々なご指導を賜りました日向良和先生、小峰直史先生、そして白百合女子大学図書館事務部事務課のみなさまに、心から感謝いたします。みなさまのおかげで、私たちの活動が大学へつながることの大切さを実感することができました。そして、白百合女子大学図書館ピアサポーターLiLiA（リリア）、都留文科大学図書館サークルLibropass（リブロパス）、専修大学文学部小峰直史研究室の学生のみなさん、忙しい学生生活の中参加してくださって本当にありがとうございます。みなさんの斬新でピュアな企画に、私たちはどれだけ刺激を受けたかわかりません。さらに、株式会社ソフテック、株式会社ブレインテック、朝日新聞社、キハラ株式会社のみなさま、資料提供やSLiiiCマーケット!へのご参加ありがとうございます。企業人としてのご意見や考え方をいただけたことも、今回のテーマを考える重要なヒントとなりました。さらにさらに、今年もかわらず、チラシやノベルティグッズなど、実にキュートなデザインを提供してくださった渡辺ゆきのさん、参加もしてくださってありがとうございました。ゆきのさんに会える、というだけでテンションのあがった参加者がきつといたと思いますよ。

最後になりましたが、SWC2015に参加してくださったみなさま、数ある研修会、イベントの中、SWCを選んでくださって本当にありがとうございます。当たり前の話ですが、企画運営側ができることは、その枠組みやアイテムをそろえることだけです。本当にその内容を作り上げ、実りのあるものにするのは、参加者のみなさまの熱意と見識にほかなりません。2日目午前のワールド・カフェの終わりの方で、参加者全員が黑板前に集まって、整然としながらも自由に発言し意見を交換し合う様子を見て、私は、これだけで、このような場を出現させることができただけで、全て報われたと、激しく感じておりました（同時に、その場に立場上参加できない自分を顧みて嫉妬の念にかられておりました）みなさまにも、このイベントに参加してよかったと少しでも感じていただけたことがありましたら、幸いです。

来年度も、もちろんSWC2016が行われます。みなさまに再び私どものイベントを選んでいただけますよう、全力を尽くしたいと思います。そして、これも正直に申し上げますが、私たちスタッフが一番学び、喜ぶことのできるような、そんなSWCにすることができたら、とスタッフ一同心から願ってやみません。

学校図書館プロジェクトSLiiiC 代表 横山寿美代

# 目次

## はじめに

### 1. サマー・ワーク・キャンプ 2015 開催報告 <1日目：9月12日（土）>

- 講演「学校図書館と公共図書館がつながるために」（講師：高井陽氏）
  - 講演要旨
  - 質疑応答
  - SWC2015 を終えて…高井陽さんメッセージ
  
- コラボ：白百合女子大学「生涯学習概論」（担当：今井福司）
  
- 都留文科大学 図書館サークル Libropass 活動報告
  - SWC2015 を終えて…日向良和先生メッセージ
  
- 白百合女子大学図書館ピアサポーターLiLiA 紹介
  
- LiLiA 企画（お悩み相談会，LiLiA と一緒に POP を作ろう）
  
- 都留文科大学 Libropass × 白百合女子大学 LiLiA ビブリオバトル
  
- 懇親会 in 仙川

## 2. サマー・ワーク・キャンプ 2015 開催報告 <2日目：9月13日（日）>

- ワールド・カフェ「学校図書館と生涯教育」（講師：小峰直史先生（専修大学文学部），ファシリテーター：専修大学小峰研究室学生）
  - ワールド・カフェ要旨
  - ワールド・カフェ「学校図書館と生涯学習」意図開き…小峰直史先生
  - SWC2015 を終えて…専修大学小峰研究室 稲井田雛乃さん（2日目ワークショップファシリテーター）
- SLiiC マーケット！
- SLiiC 学校図書館運営マニュアルプロジェクト活動報告
- 「学校図書館・公共図書館あるある」トークイベント

おわりに

